

考查基準

1 担当課長 考查基準

(1) 考查方法

担当課長は、評定趣旨を十分に理解し尊重した上で、それぞれ総合的に評定を行う。

(2) 評定点範囲

採点表（担当課長用）の該当評価項目について、それぞれ総合的に判断して評定するものとする。

2 担当係長（監督員）及び検査員 考查基準

評定にあたっては、当該業務の履行状況に応じ、各評価項目の評定を行うものとする。（評価項目の追加、削除、もしくは評価比重の変更は行わない。）

3 事故等による減点等

(1) 事故等による減点

当該業務遂行中に受注者に起因する事故等が発生し入札参加資格停止等の措置を行った場合には、当該業務の総合評定点に対して、別表－１を参考として１５点まで減点することができる。

別表－１ 受注者に起因する事故等が発生した場合の減点基準

区分	口頭注意	文書注意	入札参加資格停止 １ヶ月まで	入札参加資格停止が １ヶ月を超える
考查点	－３点	－５点	－１０点	－１５点

【適応事例】

- ・入札前に提出した当該業務の技術提案書等が虚偽であった事実が判明した。
- ・発注者の承諾なしに当該業務に関する権利義務、成果物を第三者に譲渡又は承継、公開した。
- ・産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。
- ・一括再委託、請負を行った。
- ・打合せ協議または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。
- ・当該業務において過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。
- ・当該業務において、安全管理の処分が不適切であったために、死傷者を生じさせた業務関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。

(2) 瑕疵修補及び損害賠償による減点

成果品に、受注者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約書の瑕疵担保条項等に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合には、当該業務の総合評定点に対して、別表－２を参考として２０点まで減点することができる。ただし、ここでいう瑕疵修補とは、軽微なミスの修正ではない大幅な修補をいう。また、委託業務等成績評定要領（以下「評定要領」という。）第７に定める評定の結果の通知後に当該事象が発生した場合は、評定要領第８に定める評定の修正を行うものとする。

別表－２ 瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点基準

区 分	瑕疵修補又は損害賠償の実施	故意又は重大な過失により 瑕疵修補又は損害賠償の実施
考 査 点	－１０点	－２０点

(3) 低入札価格調査における虚偽説明等による減点

愛媛県土木部業務委託低入札価格調査試行要綱（平成 21 年 4 月 1 日施行）の規定に基づく低入札価格調査の調査対象者が、当該調査を経て契約を行った後に虚偽の資料提出又は説明を行ったことが明らかとなった場合は、成績評定に厳格に反映することとし、業務成績評定点を減点する場合は、当該業務の総合評定点に対して、別表－ 3 を参考として 10 点まで減点することができる。また、評定要領第 7 に定める評定の結果の通知後に当該事象が発生した場合は、評定要領第 8 に定める評定の修正を行うものとする。

なお、この場合、評定要領別記様式第 1 及び第 2 に定める委託業務等成績評定表及び委託業務等成績評定通知書別表においては、「その他（低入札価格調査における虚偽説明等による減点）」として記入するものとする。

別表－ 3 低入札価格調査における虚偽説明等が明らかとなった場合の減点基準

区 分	調査対象者の故意又は重大な過失による虚偽説明等の場合
考 査 点	－ 10 点

4 「単純調査業務」について

「設計業務等共通仕様書（案）」第 1204 条及び第 1205 条に規定する「調査業務及び計画業務」のうち、高度な技術力をそれほど必要としない単純なデータ処理業務や資料収集・整理業務等について、「単純調査業務」と定義する。なお、「単純調査業務」の対象業務については、以下に示す例を参考とされたい。

・「単純調査業務」の例

各部門共通	単純なデータ収集整理業務
	単純なデータ処理業務
	書類編集的な業務
	文献収集業務
河川、砂防及び海岸	水理・水文観測業務
	データ加工業務(降雨解析等)
	不等流計算等の計算業務(システム開発を除く)
	補償数量の算出
	工事記録等資料の分類・整理
	工事図面集、写真集等の作成
道路	一般的な現地調査
	一般的な交通量観測業務
	台帳整理等を目的とした資料収集業務
トンネル	クラック等変状の計測調査
施工計画及び施工設備	施工関連資料の収集整理
情報	定期的なデータメンテナンス
	資料収集的な業務
	単純なデータ作成のみの業務
防災	資料収集的な業務
環境	大気汚染、水質汚濁、騒音、振動等調査・分析方法が J I S 等で規定されている測定業務

5 適用する採点表について

(1) 業務種類別の適用採点表

ア 「地質調査、単純調査業務、測量業務等」採点表

評定要領第2第1項第1号、第2号、第3号及び第4号に規定する業務並びに第5号に規定する業務のうち単純調査業務に適用する。

イ 「調査業務、計画業務」採点表

評定要領第2第1項第5号に規定する業務（単純調査業務を除く）に適用する。

ウ 「設計業務」採点表

評定要領第2第1項第6号に規定する業務に適用する。

エ 評定要領第2第1項第7号に規定する業務の採点表は、担当係長（監督員）が決定する。

(2) 対象業務が複数の業務にまたがる場合の取扱い

対象業務が、上記(1)ア～エのうちの複数の業務にまたがる場合においては、業務の目的、金額を勘案し、原則として主たる業務の採点表を適用する。

(3) 採点表の選定について

対象業務が複数にまたがる場合の取扱いや単純調査業務の選定は、担当係長（監督員）が決定する。

6 総合評定点について

総合評定点を算出する際には、対象業務に応じて評価項目ごとに以下の重み付けを考慮する。

評価項目		地質調査、単純調査業務、 測量業務等				調査業務、計画業務				設計業務			
		業務 評価	技術者評価 (注1)			業務 評価	技術者評価 (注1)			業務 評価	技術者評価 (注1)		
			管理	担当	照査		管理	担当	照査		管理	担当	照査
専門 技術力	提案力、改善力	2	2	2	—	2	2	2	—	2	2	2	—
	業務執行能力	4	4	4	—	4	4	4	—	4	4	4	—
	施工時への 配慮 (注2)	概略設計、 予備設計	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	—
			—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	—
	コスト把握能力 (注2)	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	—
管 理 技術力	工程管理能力	2	2	—	—	2	2	—	—	2	2	—	—
	品質管理能力	2	2	—	2	2	2	—	2	2	2	—	2
	迅速性、弾力性、 調整能力	1	1	—	—	1	1	—	—	1	1	—	—
コミュニケーション力	説明力、協調性、 プレゼンテーション力	1	1	1	—	1	1	1	—	1	1	1	—
取 組 姿 勢	責任感、積極性、 倫理観	2	2	2	—	2	2	2	—	2	2	2	—
成果品の品質		7	7	4	1	7	7	4	1	8	8	5	1
合 計		21 (100%)	21 (100%)	13 (100%)	3 (100%)	21 (100%)	21 (100%)	13 (100%)	3 (100%)	24 (100%)	24 (100%)	16 (100%)	3 (100%)

注) 1 技術者評価は、監督員の確認を受けた上で業務実績情報として登録された技術者を評価の対象とする。

2 「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は、設計業務のみ評価の対象とする。

7. 業務評定項目

評 価 項 目			評 価 の 視 点	(1) 地質調査、単純調査業務、測量業務等				(2) 調査業務、計画業務				(3) 設計業務						
				担当係長 (監督員)	担当課長	検査員	評定点 (注 1)	担当係長 (監督員)	担当課長	検査員	評定点 (注 1)	担当係長 (監督員)	担当課長	検査員	評定点 (注 1)			
プロセス評価	専門技術力	提案力 改善力	業務着手段階における業務特性等の考慮	○			④ =①×2/21	○			④ =①×2/21	○			④ =①×2/24			
			業務遂行段階における提案	○				○				○						
			業務遂行上必要となる課題の提案	○				○				○						
			業務内容等改善の提案	○				○				○						
			小 計	①				④	①				④	①				④
		業務執行技術力	目的と内容の理解	○	○		④ =①×4/21×1/10 +②×4/21×5/10 +③×4/21×4/10	○	○		④ =①×4/21×1/10 +②×4/21×5/10 +③×4/21×4/10	○	○		④ =①×4/24×1/10 +②×4/24×5/10 +③×4/24×4/10			
			必要情報の把握	○						○						○		
			業務項目、業務手法又は検討項目、検討手法	○		○				○						○		
			打合せ資料の内容	○						○						○		
			十分な技術力	○		○				○						○		
			小 計	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④			
			施工時への配慮 (設計時評価、 設計業務を 対象に評定する。 イ、ロのいずれか を選択する。)	イ.『概略設計』 『予備設計』 の場合	施工に関する一般的な知識								△			④ =①×1/24		
		施工条件等の把握										△						
		小 計										①			④			
		ロ.『詳細設計』 の場合		施工に関する一般的な知識									△			④ =①×1/24		
				施工条件等の把握									△					
				施工計画（施工方法、仮設備計画）									△					
				小 計									①				④	
		コスト把握能力 (設計業務を対象に評定する。)	コスト把握能力									○			④ =①×1/24			
			小 計									①				④		
	管理技術力	工程管理能力	実施手順、工程計画	○			④ =①×2/21	○			④ =①×2/21	○			④ =①×2/24			
			実施体制	○				○				○						
			打合せ内容の理解、記録	○				○				○						
			工程管理	○				○				○						
			小 計	①				④	①				④	①				④
		品質管理能力	ミス防止の実施	○			④ =①×2/21	○			④ =①×2/21	○			④ =①×2/24			
			小 計	①				④	①				④	①				④
		迅速性 弾力性 調整能力	当初計画の変更	○			④ =①×1/21	○			④ =①×1/21	○			④ =①×1/24			
			関連事業者間の調整	○				○				○						
			地元住民との合意形成	○				○				○						
			小 計	①				④	①				④	①				④
		説明力 協調性 ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ力	理解しやすい説明・ﾌﾟﾚﾞﾞﾝﾃｰｼｮﾝ（資料）	○			④ =①×1/21×1/10 +③×1/21×9/10	○			④ =①×1/21×1/10 +③×1/21×9/10	○			④ =①×1/24×1/10 +③×1/24×9/10			
			理解しやすい説明・ﾌﾟﾚﾞﾞﾝﾃｰｼｮﾝ（対応）	○		○				○				○				
			説明を補う努力	○				○				○				○		
			円滑な業務遂行への努力	○				○				○				○		
			小 計	①		③		④	①			③	④	①			③	④
		取組姿勢	責任感、積極性	○			④ =①×2/21×1/10 +②×2/21×9/10	○			④ =①×2/21×1/10 +②×2/21×9/10	○			④ =①×2/24×1/10 +②×2/24×9/10			
			責任感、積極性、倫理観		○				○				○					
			小 計	①	②			④	①	②			④	①		②		④
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	○		○	④ =①×7/21×1/10 +③×7/21×9/10	○		○	④ =①×7/21×1/10 +③×7/21×9/10	○		○	④ =①×8/24×1/10 +③×8/24×9/10				
		的確なとりまとめ	○		○		○		○		○		○					
		ミスの有無	○		○		○		○		○		○					
		小 計	①		③		④	①			③	④	①			③	④	
⑤小計（注 2）				⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤				
業務執行に係る過失に伴う減点		⑥業務執行上の過失		⑥		⑥		⑥		⑥		⑥		⑥				
		⑦守秘性に係る過失		⑦		⑦		⑦		⑦		⑦		⑦				
⑧事故等による減点						⑧				⑧				⑧				
⑨成果品に、受託者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約図書に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点（軽微なミスの修正を除く）						⑨				⑨				⑨				
⑩その他						⑩				⑩				⑩				
総合評定点⑪＝⑤＋⑥＋⑦＋⑧＋⑨＋⑩						⑪				⑪				⑪				

は、評定対象外
○は、必須評定項目
△は、選択評定項目

注： 1. 各評価項目の「評定点④」は、少数第二位を四捨五入して表示する。
2. 「⑤小計」は、少数第一位を四捨五入し整数とする。

8. 採点表

(1) 「地質調査、単純調査業務、測量業務等」採点表 ① [担当係長(監督員)用]

業務名：○○第○号測の○ △△△委託業務

(1/4)

評価項目		評価の視点	配点	得 点 率					得点	評 価 細 目
				優 標準 劣						
				1. 0	0. 8	0. 6	0. 4	0. 2		
プロセス評価	提案力 改善力	業務着手段階における業務特性等の考慮	20	(評価細目が2つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」、n=2⇒「1.0」 (評価細目が3つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」、n=2⇒「0.9」 n=3⇒「1.0」						☐ ・当該業務の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 ☐ ・業務着手段階で、当該業務に係る地域の特性や現場条件を考慮した資料が提出された。 ☐ ・当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析（算定）等の手法・技術に関する提案がなされた。注1）【選択項目】
		業務遂行段階における提案	40	(評価細目が2つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」、n=2⇒「1.0」 (評価細目が3つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」、n=2⇒「0.9」 n=3⇒「1.0」						☐ ・業務遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 ☐ ・業務遂行段階で地域の特性や現場条件を考慮した提案がなされた。 ☐ ・関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。注1）【選択項目】
		業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」、n=2⇒「1.0」						☐ ・当該業務で不足する課題が抽出された。 ☐ ・検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
		業務内容等改善の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」、n=2⇒「1.0」						☐ ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ☐ ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
		小 計	100	①						
	業務執行技術力	目的と内容の理解	20	(評価細目が3つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.5」、n=2⇒「0.7」 n=3⇒「1.0」 (評価細目が4つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」、n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」、n=4⇒「1.0」						☐ ・業務計画書に必要事項が記載されていた。注2) ☐ ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 ☐ ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。注2) ☐ ・特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されていた。【選択項目】
		必要情報の把握	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」、n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」、n=4⇒「0.9」 n=5⇒「1.0」						☐ ・業務着手時点において、適切に資料等が整備された。 ☐ ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ☐ ・業務遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 ☐ ・業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。 ☐ ・業務初動段階で、現地確認を行い、現場情報を収集できていた。
		業務項目 業務手法	20	(評価細目が3つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.5」、n=2⇒「0.7」 n=3⇒「1.0」 (評価細目が4つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」、n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」、n=4⇒「1.0」						☐ ・業務項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。注3) ☐ ・採用された業務手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ☐ ・業務目的に照らし必要な業務項目が不足無く設定され、業務項目間の整合も図られていた。 ☐ ・提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注1）【選択項目】
		打合せ資料の内容	20	(評価細目が3つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.5」、n=2⇒「0.7」 n=3⇒「1.0」 (評価細目が4つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」、n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」、n=4⇒「1.0」						☐ ・打合せ資料に大きなミスがなかった。 ☐ ・打合せ資料に、業務を進めるにあたっての課題等が適切に盛り込まれていた。 ☐ ・打合せ資料に、業務を進めるにあたっての課題解決策や提案等が適切に盛り込まれていた。 ☐ ・適用する諸基準類のない業務、若しくは難易度の高い業務等を進めるにあたり、的確な理論展開による説明が盛り込まれていた。注1）【選択項目】
		十分な技術力	20	(評価細目が3つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.5」、n=2⇒「0.7」 n=3⇒「1.0」 (評価細目が4つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」、n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」、n=4⇒「1.0」						☐ ・業務に必要な技術基準（補償基準）、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ☐ ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。（測量においては、作業に応じた機器等が配置されていたことも併せて評価する。） ☐ ・業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ☐ ・新たな、あるいは高度な調査・解析（算定）等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注1）【選択項目】
		小 計	100	①						

注1) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

注2) 用地調査等業務においては、作業計画書をいう。

注3) 用地調査等業務においては、仕様書等をいう。

評価項目			評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
					優	標準			劣		
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	管理技術力	工程管理能力	実施手順 工程計画	30	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・契約書等に記載された期限以内（契約締結後14日以内）に業務工程表が提出され、速やかに業務の着手がなされた。 ☐ ・業務実施方針及び工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていた。注2） ☐ ・業務実施方針又は詳細な工程表には、業務実施上のポイントとなる工程目標等が具体的に示されていた。 ☐ ・作業（調査）項目間の実施手順等が適切に計画されていた。
			実施体制	10	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「0.9」 〃=5⇒「1.0」						☐ ・契約図書に基づき、管理技術者通知及び業務計画書が提出された。注1） ☐ ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行された。注1） ☐ ・配置された担当技術者若しくは照査技術者は、業務内容に応じた技術者が配置され、適正に履行された。 ☐ ・業務計画書（業務組織計画）に示された実施体制は、本業務の履行に対して十分な体制であった。注1） ☐ ・県内に技術者が配属されており、地元要望や発注者の指示に対し、迅速な対応ができた。
			打合せ内容の 理解、記録	20	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃=1⇒「0.5」、〃=2⇒「0.7」 〃=3⇒「1.0」						☐ ・打合せ記録簿が、打合せ後速やかに提出された。 ☐ ・打合せ記録簿の記載内容が打合せ結果を適切に反映し、打合せ後の進め方や懸案事項等が的確に整理されていた。 ☐ ・打合せ時に生じた不明点等の協議・確認が適切になされ、打合せ内容が理解された。
			工程管理	40	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・指示や注意を行う必要のあるような工程の遅れや、履行期限内に納品されない等はなかった。 ☐ ・設計図書に基づく作業状況の報告、履行報告等を適切な時期に提出していた。注2） ☐ ・関連する他の業務や工事等に影響を及ぼすことなく完了できた。 ☐ ・履行中のポイントとなる工程目標等も含め、全体を通して工程計画どおり完了できた。
			小 計	100	①						
		品質管理能力	ミス防止の 実施	100	評価細目チェック数⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・チェックリスト等の品質管理の記録により、品質の管理がされたことを確認できた。 ☐ ・品質管理のためのシステムが構築されている部署で業務が行われ、かつ、それらの成果への反映について確認できた。（ex. ISO9001等の認証取得状況と成果への反映の確認）
			小 計	100	①						

注1）用地調査等業務においては、作業計画書をいう。

注2）用地調査等業務においては、仕様書等をいう。

評価項目			評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
					標準						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	管理技術力	迅速性 弾力性 調整能力	当初計画の変更	40	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・業務遂行中に生じた、当初工程計画や業務内容の変更要請、あるいは監督員の指示等に迅速に対応した。 ☐ ・その結果生じた検討（作業）内容が優れていた。
			関連事業者間の調整	30	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・発注者からの指示、あるいは発注者との協議結果に基づき、関連事業者間での調整に係わる提案資料が作成された。 ☐ ・作成された資料の内容が良くとりまとめられていた。
			地元住民との合意形成	30	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.7」、〃=2⇒「0.8」 〃=3⇒「0.9」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・発注者からの指示、あるいは発注者との協議結果に基づき、地元住民等との合意形成（円滑な業務履行の確保に資する地元等への配慮等を含む）に係わる提案資料が作成された。 ☐ ・作成された資料の内容が良くとりまとめられていた。 ☐ ・地元説明会に参加し、説明会の運営等へ貢献した。 ☐ ・地域における問題点や課題に精通し、地元要望や意見を取り入れるなど地元住民との合意形成を図る努力が行われた。
			小 計	100	①						
	コミュニケーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション力	理解しやすい説明 プレゼンテーション（資料）	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ☐ ・図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 ☐ ・資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 ☐ ・資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。
			理解しやすい説明 プレゼンテーション（対応）	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 ☐ ・質問に対する的確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ☐ ・一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ☐ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
			説明を補う努力	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 ☐ ・説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 ☐ ・相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ☐ ・説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
			円滑な業務遂行への努力	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「0.9」 〃=3⇒「1.0」						☐ ・密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 ☐ ・業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。 ☐ ・作業遂行上、電話やメールでのやり取りでは十分でないと考えられる内容に関して、臨機に面談による協議が行われた。
			小 計	100	①						

評価項目			評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
					優標準劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	取組姿勢	責任感 積極性 倫理観	責任感 積極性	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動は無かった。 ☐ ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ☐ ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ☐ ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
			小計	100	①						
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	(評価細目が4つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」 (評価細目が5つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「0.9」 〃=5⇒「1.0」						☐ ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。注2) ☐ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ☐ ・業務成果は、現地条件が十分に反映され、現地適合性に優れた内容のものであった。 ☐ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。注1)【選択項目】	
		的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・設計図書にある検討（調査）項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。注2) ☐ ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ☐ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ☐ ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。注2)	
		ミスの有無	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・必要書類が整備されていた。 ☐ ・成果品の品質に大きく影響しない計算等のミスも認められなかった。 ☐ ・誤字・脱字、表記等、軽微なミスが、ほとんど認められなかった。 ☐ ・チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。	
		小計	100	①							

注1) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

注2) 用地調査等業務においては、仕様書等をいう。

評価項目			評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目		
					優 標準 劣								
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2				
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	業務執行技術力	100	評価細目チェック数 =1以下⇒「0.2」 // =2⇒「0.4」 // =3⇒「0.6」 // =4⇒「0.8」 // =5以上⇒「1.0」						☐ ・当該業務の目的と内容の理解について、評価できるものであった。 ☐ ・当該業務に必要な情報の把握について、評価できるものであった。 ☐ ・当該業務に対する検討項目及び検討手法について、評価できるものであった。 ☐ ・当該業務の打合せ資料の内容について、評価できるものであった。 ☐ ・当該業務に必要とされる技術力を十分に発揮し、評価できるものであった。 ☐ ・その他（理由： ）		
			小 計	100	②								
	取組姿勢	責任感 積極性 倫理観	責任感 積極性 倫理観	100	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 // =1⇒「0.4」 // =2⇒「0.6」 // =3⇒「0.8」 // =4以上⇒「1.0」						☐ ・企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。 ☐ ・当該業務遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。 ☐ ・地域への貢献等に関して、評価できるものであった。 ☐ ・業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、業務を完成させた。 ☐ ・その他（理由： ）		
			小 計	100	②								
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失				評価細目チェック数 1つ毎に 3点減点 ⑥						☐ ・業務執行上、指摘又は指導等を行ったが、改善されなかった。 ☐ ・関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情報連絡等、対応が適切に行われなかった。 ☐ ・業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。 ☐ ・業務実施体制に問題があった。 ☐ ・その他（理由： ）		
	守秘性に係る過失				評価細目チェック数 1つ毎に 3点減点（チェックは1つまで） ⑦						☐ ・業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任によるものと発注者が判断した。 ☐ ・その他（理由： ）		

評価項目			評価の視点	配点	得 点 率					得点	評 価 細 目
					優 標準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	業務項目 業務手法	50	(評価細目が3つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.5」、〃=2⇒「0.7」 〃=3⇒「1.0」 (評価細目が4つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・業務項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。注2) ☐ ・採用された業務手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ☐ ・業務目的に照らし必要な業務項目が不足無く設定され、業務項目間の整合も図られていた。 ☐ ・提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注1) 【選択項目】
			十分な技術力	50	(評価細目が3つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.5」、〃=2⇒「0.7」 〃=3⇒「1.0」 (評価細目が4つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・業務に必要な技術基準（補償基準）、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ☐ ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。（測量においては、作業に応じた機器等が配置されていたことも併せて評価する。） ☐ ・業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ☐ ・新たな、あるいは高度な調査・解析（算定）等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注1) 【選択項目】
	小 計		100	③							
コミュニケーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション力	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・質問に対する確かな回答がなされ、一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ☐ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 ☐ ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ☐ ・説明当事者の説明が十分なされた。説明が不十分な場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。	
	小 計		100	③							
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	(評価細目が4つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」 (評価細目が5つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「0.9」 〃=5⇒「1.0」						☐ ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。注2) ☐ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ☐ ・業務成果は、現地条件が十分に反映され、現地適合性に優れた内容のものであった。 ☐ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。注1) 【選択項目】	
		的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・設計図書にある検討（調査）項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。注2) ☐ ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ☐ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ☐ ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。注2)	
	ミスの有無	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・必要書類が整備されていた。 ☐ ・成果品の品質に大きく影響しない計算等のミスも認められなかった。 ☐ ・誤字・脱字、表記等、軽微なミスが、ほとんど認められなかった。 ☐ ・チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。		
小 計		100	③								

注1) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

注2) 用地調査等業務においては、仕様書等をいう。

評価項目		評価の視点	配点	得 点 率					得点	評 価 細 目	
				優 標準 劣							
				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	専門技術力	提案力 改善力	業務着手段階における業務特性等の考慮	20	(評価細目が2つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」 (評価細目が3つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「0.9」 〃=3⇒「1.0」 -----						☐ ・当該業務の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 ☐ ・業務着手段階で、当該業務に係る地域の特性や現場条件を考慮した資料が提出された。 ☐ ・当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析等の手法・技術に関する提案がなされた。注) 【選択項目】
			業務遂行段階における提案	40	(評価細目が2つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」 (評価細目が3つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「0.9」 〃=3⇒「1.0」 -----						☐ ・業務遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 ☐ ・業務遂行段階で地域の特性や現場条件を考慮した提案がなされた。 ☐ ・関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。注) 【選択項目】
			業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」 -----						☐ ・当該業務で不足する課題が抽出された。 ☐ ・検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
			業務内容等改善の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」 -----						☐ ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ☐ ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
			小 計	100	①						
	業務執行技術力		目的と内容の理解	20	(評価細目が3つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.5」、〃=2⇒「0.7」 〃=3⇒「1.0」 (評価細目が4つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」 -----						☐ ・業務計画書に必要事項が記載されていた。 ☐ ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 ☐ ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 ☐ ・特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されていた。【選択項目】
			必要情報の把握	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「0.9」 〃=5⇒「1.0」 -----						☐ ・業務着手時点において、適切に資料等が整備された。 ☐ ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ☐ ・業務遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 ☐ ・業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。 ☐ ・業務初動段階で、現地確認を行い、現場情報を収集できていた。
			検討項目 検討手法	20	(評価細目が3つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.5」、〃=2⇒「0.7」 〃=3⇒「1.0」 (評価細目が4つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」 -----						☐ ・検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 ☐ ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ☐ ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ☐ ・提案された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注) 【選択項目】
			打合せ 資料の内容	20	(評価細目が3つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.5」、〃=2⇒「0.7」 〃=3⇒「1.0」 (評価細目が4つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」 -----						☐ ・打合せ資料に大きなミスがなかった。 ☐ ・打合せ資料に、業務を進めるにあたっての課題等が適切に盛り込まれていた。 ☐ ・打合せ資料に、業務を進めるにあたっての課題解決策や提案等が適切に盛り込まれていた。 ☐ ・適用する諸基準類のない業務、若しくは難易度の高い業務等を進めるにあたり、的確な理論展開による説明が盛り込まれていた。注) 【選択項目】
			十分な技術力	20	(評価細目が3つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.5」、〃=2⇒「0.7」 〃=3⇒「1.0」 (評価細目が4つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」 -----						☐ ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ☐ ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 ☐ ・業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ☐ ・新たな、あるいは高度な調査・解析等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注) 【選択項目】
			小 計	100	①						

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

評価項目			評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
					優標準劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	管理技術力	工程管理能力	実施手順 工程計画	30	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・契約書等に記載された期限以内（契約締結後14日以内）に業務工程表が提出され、速やかに業務の着手がなされた。 ☐ ・業務実施方針及び工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていた。 ☐ ・業務実施方針又は詳細な工程表には、業務実施上のポイントとなる工程目標等が具体的に示されていた。 ☐ ・作業（調査、検討）項目間の実施手順等が適切に計画されていた。
			実施体制	10	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「0.9」 〃=5⇒「1.0」						☐ ・契約図書に基づき、管理技術者通知及び業務計画書が提出された。 ☐ ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行された。 ☐ ・配置された担当技術者若しくは照査技術者は、業務内容に応じた技術者が配置され、適正に履行された。 ☐ ・業務計画書（業務組織計画）に示された実施体制は、本業務の履行に対して十分な体制であった。 ☐ ・県内に技術者が配属されており、地元要望や発注者の指示に対し、迅速な対応ができた。
			打合せ内容の 理解、記録	20	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃=1⇒「0.5」、〃=2⇒「0.7」 〃=3⇒「1.0」						☐ ・打合せ記録簿が、打合せ後速やかに提出された。 ☐ ・打合せ記録簿の記載内容が打合せ結果を適切に反映し、打合せ後の進め方や懸案事項等が的確に整理されていた。 ☐ ・打合せ時に生じた不明点等の協議・確認が適切になされ、打合せ内容が理解された。
			工程管理	40	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・指示や注意を行う必要のあるような工程の遅れや、履行期限内に納品されない等はなかった。 ☐ ・設計図書に基づく作業状況の報告、履行報告等を適切な時期に提出していた。 ☐ ・関連する他の業務や工事に影響を及ぼすことなく完了できた。 ☐ ・履行中のポイントとなる工程目標も含め、全体を通して工程計画どおり完了できた。
			小 計	100	①						
	品質管理能力	ミス防止の 実施	100	評価細目チェック数⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」						☐ ・「業務計画書」に「成果品の品質を確保するための計画」が記述され、その内容とその活動を適切に実施した等、品質の管理がされたことを、照査記録やチェックリスト等の記録により確認できた。 ☐ ・品質管理のためのシステムが構築されている部署で業務が行われ、かつ、それらの成果への反映について確認できた。 (ex. ISO9001等の認証取得状況と成果への反映の確認)	
		小 計	100	①							

評価項目			評価の視点	配点	得点率						得点	評価細目
					優標準劣							
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	管理技術力	迅速性 弾力性 調整能力	当初計画の変更	40	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」							☐ ・業務遂行中に生じた、当初工程計画や業務内容の変更要請、あるいは監督員の指示等に迅速に対応した。 ☐ ・その結果生じた検討内容が優れていた。
			関連事業者間の調整	30	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「1.0」							☐ ・発注者からの指示、あるいは発注者との協議結果に基づき、関連事業者間の調整に係わる提案資料が作成された。 ☐ ・作成された資料の内容が良くとりまとめられていた。
			地元住民との合意形成	30	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.7」、〃=2⇒「0.8」 〃=3⇒「0.9」、〃=4⇒「1.0」							☐ ・発注者からの指示、あるいは発注者との協議結果に基づき、地元住民等との合意形成（円滑な業務履行の確保に資する地元等への配慮等を含む）に係わる提案資料が作成された。 ☐ ・作成された資料の内容が良くとりまとめられていた。 ☐ ・地元説明会に参加し、説明会の運営等に貢献した。 ☐ ・地域における問題点や課題に精通し、地元要望や意見を取り入れるなど地元住民との合意形成を図る努力が行われた。
			小計	100	①							
	コミュニケーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション力	理解しやすい説明 プレゼンテーション（資料）	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」							☐ ・日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 ☐ ・図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 ☐ ・資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 ☐ ・資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。
			理解しやすい説明 プレゼンテーション（対応）	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」							☐ ・打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 ☐ ・質問に対しの確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ☐ ・一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ☐ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
			説明を補う努力	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」							☐ ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 ☐ ・説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 ☐ ・相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ☐ ・説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
			円滑な業務遂行への努力	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 〃=1⇒「0.8」、〃=2⇒「0.9」 〃=3⇒「1.0」							☐ ・密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 ☐ ・業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。 ☐ ・業務遂行上、電話やメールでのやり取りでは十分でないと考えられる内容に関して、臨機に面談による協議が行われた。
			小計	100	①							

評価項目			評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
					優標準劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	取組姿勢	責任感 積極性 倫理観	責任感 積極性	100	評価細目チェック数⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動は無かった。 ☐ ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ☐ ・事業遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ☐ ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
			小計	100	①						
		結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	(評価細目が4つの場合) 評価細目チェック数⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」 (評価細目が5つの場合) 評価細目チェック数⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「0.9」 〃=5⇒「1.0」					
的確なとりまとめ	30			評価細目チェック数⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ☐ ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ☐ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ☐ ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
ミスの有無	30			評価細目チェック数⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・必要書類が整備されていた。 ☐ ・成果品の品質に大きく影響しない計算等のミスも認められなかった。 ☐ ・誤字・脱字、表記等、軽微なミスが、ほとんど認められなかった。 ☐ ・チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。	
小計	100			①							

注) 考査基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

評価項目			評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目		
					優 標準 劣								
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2				
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力		100	評価細目チェック数 =1以下⇒「0.2」 // =2⇒「0.4」 // =3⇒「0.6」 // =4⇒「0.8」 // =5以上⇒「1.0」						☐ ・当該業務の目的と内容の理解について、評価できるものであった。 ☐ ・当該業務に必要な情報の把握について、評価できるものであった。 ☐ ・当該業務に対する検討項目及び検討手法について、評価できるものであった。 ☐ ・当該業務の打合せ資料の内容について、評価できるものであった。 ☐ ・当該業務に必要とされる技術力を十分に発揮し、評価できるものであった。 ☐ ・その他（理由： ）		
	取組姿勢	責任感 積極性 倫理観	責任感 積極性 倫理観	100	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 // =1⇒「0.4」 // =2⇒「0.6」 // =3⇒「0.8」 // =4以上⇒「1.0」						☐ ・企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。 ☐ ・当該業務遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。 ☐ ・地域への貢献等に関して、評価できるものであった。 ☐ ・業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、業務を完成させた。 ☐ ・その他（理由： ）		
					②								
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失				評価細目チェック数1つ毎に3点減点 ⑥						☐ ・業務執行上、指摘又は指導等を行ったが、改善されなかった。 ☐ ・関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情報連絡等、対応が適切に行われなかった。 ☐ ・業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。 ☐ ・業務実施体制に問題があった。 ☐ ・その他（理由： ）		
	守秘性に係る過失				評価細目チェック数1つ毎に3点減点（チェックは1つまで） ⑦						☐ ・業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任によるものと発注者が判断した。 ☐ ・その他（理由： ）		

評価項目			評価の視点	配点	得 点 率					得点	評 価 細 目
					優 標準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	業務項目 業務手法	50	(評価細目が3つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.5」、〃=2⇒「0.7」 〃=3⇒「1.0」 (評価細目が4つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 ☐ ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ☐ ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ☐ ・提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注) 【選択項目】
			十分な技術力	50	(評価細目が3つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.5」、〃=2⇒「0.7」 〃=3⇒「1.0」 (評価細目が4つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ☐ ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 ☐ ・業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ☐ ・新たな、あるいは高度な調査・解析等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注) 【選択項目】
		小 計	100	③							
	コミュニケーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション力	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・質問に対する的確な回答がなされ、一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ☐ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 ☐ ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ☐ ・説明当事者の説明が十分なされた。説明が不十分な場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。
			小 計	100	③						
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	(評価細目が4つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」 (評価細目が5つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「0.9」 〃=5⇒「1.0」						☐ ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ☐ ・業務成果は、現地条件が十分に反映され、現地適合性に優れた内容のものであった。 ☐ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。注) 【選択項目】	
		的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ☐ ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 ☐ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ☐ ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。	
		ミスの有無	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・必要書類が整備されていた。 ☐ ・成果品の品質に大きく影響しない計算等のミスも認められなかった。 ☐ ・誤字・脱字、表記等、軽微なミスが、ほとんど認められなかった。 ☐ ・チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。	
		小 計	100	③							

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

評価項目			評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
					標準						
					優				劣		
1.0	0.8	0.6	0.4	0.2							
プロセス評価	専門技術力	提案力 改善力	業務着手段階における業務特性等の考慮	20	(評価細目が2つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.6」 #1⇒「0.8」、#2⇒「1.0」 (評価細目が3つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.6」 #1⇒「0.8」、#2⇒「0.9」 #3⇒「1.0」						☐ ・当該業務の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 ☐ ・業務着手段階で、当該業務に係る地域の特性や現場条件を考慮した資料が提出された。 ☐ ・当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされた。注) 【選択項目】
			業務遂行段階における提案	40	(評価細目が2つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.6」 #1⇒「0.8」、#2⇒「1.0」 (評価細目が3つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.6」 #1⇒「0.8」、#2⇒「0.9」 #3⇒「1.0」						☐ ・業務遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 ☐ ・業務遂行段階で地域の特性や現場条件を考慮した提案がなされた。 ☐ ・関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。注) 【選択項目】
			業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 #1⇒「0.8」、#2⇒「1.0」						☐ ・当該業務で不足する課題が抽出された。 ☐ ・検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
	業務内容等改善の提案	20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 #1⇒「0.8」、#2⇒「1.0」						☐ ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 ☐ ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。		
	小 計	100	①								
	業務執行技術力		目的と内容の理解	20	(評価細目が3つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 #1⇒「0.5」、#2⇒「0.7」 #3⇒「1.0」 (評価細目が4つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 #1⇒「0.4」、#2⇒「0.6」 #3⇒「0.8」、#4⇒「1.0」						☐ ・業務計画書に必要事項が記載されていた。 ☐ ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 ☐ ・業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 ☐ ・特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されていた。【選択項目】
			必要情報の把握	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 #1⇒「0.4」、#2⇒「0.6」 #3⇒「0.8」、#4⇒「0.9」 #5⇒「1.0」						☐ ・業務着手時点において、適切に資料等が整備された。 ☐ ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 ☐ ・業務遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 ☐ ・業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。 ☐ ・業務初動段階で、現地確認を行い、現場情報を収集できていた。
検討項目 検討手法			20	(評価細目が3つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 #1⇒「0.5」、#2⇒「0.7」 #3⇒「1.0」 (評価細目が4つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 #1⇒「0.4」、#2⇒「0.6」 #3⇒「0.8」、#4⇒「1.0」						☐ ・検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 ☐ ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ☐ ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ☐ ・提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注) 【選択項目】	
打合せ資料の内容			20	(評価細目が3つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 #1⇒「0.5」、#2⇒「0.7」 #3⇒「1.0」 (評価細目が4つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 #1⇒「0.4」、#2⇒「0.6」 #3⇒「0.8」、#4⇒「1.0」						☐ ・打合せ資料に大きなミスがなかった。 ☐ ・打合せ資料に、業務を進めるにあたっての課題等が適切に盛り込まれていた。 ☐ ・打合せ資料に、業務を進めるにあたっての課題解決策や提案等が適切に盛り込まれていた。 ☐ ・適用する諸基準類のない業務、若しくは難易度の高い業務等を進めるにあたり、的確な理論展開による説明が盛り込まれていた。注) 【選択項目】	
十分な技術力	20	(評価細目が3つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 #1⇒「0.5」、#2⇒「0.7」 #3⇒「1.0」 (評価細目が4つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 #1⇒「0.4」、#2⇒「0.6」 #3⇒「0.8」、#4⇒「1.0」						☐ ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ☐ ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 ☐ ・業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ☐ ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注) 【選択項目】			
小 計	100	①									

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目		
				優標準劣								
				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2				
プロセス評価	専門技術力	施工時への配慮 〔設計時評価〕 (設計業務を対象に評定する。)	概略設計 予備設計	施工に関する一般的な知識	60	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 # =1⇒「0.4」、# =2⇒「0.6」 # =3⇒「0.8」、# =4⇒「1.0」					☐ ・設計、図面作成において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。	
				施工条件の把握	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 # =1⇒「0.4」、# =2⇒「0.6」 # =3⇒「0.8」、# =4⇒「1.0」					☐ ・施工方法の検討において一般的に留意すべき点を理解していた。	
				小 計	100	①					☐ ・施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を有していた。	
		施工時への配慮 〔設計時評価〕 (設計業務を対象に評定する。)	詳細設計	施工に関する一般的な知識	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 # =1⇒「0.4」、# =2⇒「0.6」 # =3⇒「0.8」、# =4⇒「1.0」					☐ ・設計、図面作成において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。	
				施工条件の把握	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 # =1⇒「0.4」、# =2⇒「0.6」 # =3⇒「0.8」、# =4⇒「1.0」					☐ ・施工方法の検討において一般的に留意すべき点を理解していた。	
				施工計画 (施工方法、仮設備計画)	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 # =1⇒「0.4」、# =2⇒「0.6」 # =3⇒「0.8」、# =4⇒「0.9」 # =5⇒「1.0」					☐ ・施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を有していた。	
	コスト把握能力	施工時への配慮 〔設計時評価〕 (設計業務を対象に評定する。)	詳細設計	施工に関する一般的な知識	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 # =1⇒「0.4」、# =2⇒「0.6」 # =3⇒「0.8」、# =4⇒「1.0」					☐ ・設計、図面作成において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。	
				施工条件の把握	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 # =1⇒「0.4」、# =2⇒「0.6」 # =3⇒「0.8」、# =4⇒「1.0」					☐ ・施工方法の検討において一般的に留意すべき点を理解していた。	
				施工計画 (施工方法、仮設備計画)	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 # =1⇒「0.4」、# =2⇒「0.6」 # =3⇒「0.8」、# =4⇒「0.9」 # =5⇒「1.0」					☐ ・施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を有していた。	
		コスト把握能力	施工時への配慮 〔設計時評価〕 (設計業務を対象に評定する。)	詳細設計	施工に関する一般的な知識	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 # =1⇒「0.4」、# =2⇒「0.6」 # =3⇒「0.8」、# =4⇒「1.0」					☐ ・設計、図面作成において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。
					施工条件の把握	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 # =1⇒「0.4」、# =2⇒「0.6」 # =3⇒「0.8」、# =4⇒「1.0」					☐ ・施工方法の検討において一般的に留意すべき点を理解していた。
					施工計画 (施工方法、仮設備計画)	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 # =1⇒「0.4」、# =2⇒「0.6」 # =3⇒「0.8」、# =4⇒「0.9」 # =5⇒「1.0」					☐ ・施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を有していた。
	コスト把握能力	施工時への配慮 〔設計時評価〕 (設計業務を対象に評定する。)	詳細設計	施工に関する一般的な知識	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 # =1⇒「0.4」、# =2⇒「0.6」 # =3⇒「0.8」、# =4⇒「1.0」					☐ ・設計、図面作成において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。	
				施工条件の把握	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 # =1⇒「0.4」、# =2⇒「0.6」 # =3⇒「0.8」、# =4⇒「1.0」					☐ ・施工方法の検討において一般的に留意すべき点を理解していた。	
				施工計画 (施工方法、仮設備計画)	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 # =1⇒「0.4」、# =2⇒「0.6」 # =3⇒「0.8」、# =4⇒「0.9」 # =5⇒「1.0」					☐ ・施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を有していた。	
		コスト把握能力	施工時への配慮 〔設計時評価〕 (設計業務を対象に評定する。)	詳細設計	施工に関する一般的な知識	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 # =1⇒「0.4」、# =2⇒「0.6」 # =3⇒「0.8」、# =4⇒「1.0」					☐ ・設計、図面作成において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。
					施工条件の把握	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 # =1⇒「0.4」、# =2⇒「0.6」 # =3⇒「0.8」、# =4⇒「1.0」					☐ ・施工方法の検討において一般的に留意すべき点を理解していた。
					施工計画 (施工方法、仮設備計画)	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 # =1⇒「0.4」、# =2⇒「0.6」 # =3⇒「0.8」、# =4⇒「0.9」 # =5⇒「1.0」					☐ ・施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を有していた。

評価項目		評価の視点	配点	得 点 率					得点	評 価 細 目	
				優 標準 劣							
				1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	管理技術力	工程管理能力	実施手順 工程計画	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」、n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」、n=4⇒「1.0」						☐ ・契約書等に記載された期限以内（契約締結後14日以内）に業務工程表が提出され、速やかに業務の着手がなされた。 ☐ ・業務実施方針及び工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていた。 ☐ ・業務実施方針又は詳細な工程表には、業務実施上のポイントとなる工程目標等が具体的に示されていた。 ☐ ・作業（調査、検討、設計）項目間の実施手順等が適切に計画されていた。
			実施体制	10	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」、n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」、n=4⇒「0.9」 n=5⇒「1.0」						☐ ・契約図書に基づき、管理技術者通知及び業務計画書が提出された。 ☐ ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行された。 ☐ ・配置された担当技術者若しくは照査技術者は、業務内容に応じた技術者が配置され、適正に履行された。 ☐ ・業務計画書（業務組織計画）に示された実施体制は、本業務の履行に対して十分な体制であった。 ☐ ・県内に技術者が配属されており、地元要望や発注者の指示に対し、迅速な対応ができた。
		打合せ内容の 理解、記録	20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.5」、n=2⇒「0.7」 n=3⇒「1.0」						☐ ・打合せ記録簿が、打合せ後速やかに提出された。 ☐ ・打合せ記録簿の記載内容が打合せ結果を適切に反映し、打合せ後の進め方や懸案事項等が的確に整理されていた。 ☐ ・打合せ時に生じた不明点等の協議・確認が適切になされ、打合せ内容が理解された。	
		工程管理	40	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」、n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」、n=4⇒「1.0」						☐ ・指示や注意を行う必要のあるような工程の遅れや、履行期限内に納品されない等はなかった。 ☐ ・設計図書に基づく作業状況の報告、履行報告等を適切な時期に提出していた。 ☐ ・関連する他の業務や工事等に影響を及ぼすことなく完了できた。 ☐ ・履行中のポイントとなる工程目標等も含め、全体を通して工程計画どおり完了できた。	
		小 計	100	①							
	品質管理能力	概略設計 予備設計	ミス防止の 実施	100	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」、n=2⇒「1.0」						☐ ・「業務計画書」に「成果品の品質を確保するための計画」が記述され、その内容とその活動を適切に実施した等、品質の管理がされたことを、照査記録やチェックリスト等の記録により確認できた。 ☐ ・品質管理のためのシステムが構築されている部署で業務が行われ、かつ、それらの成果への反映について確認できた。 (ex. ISO9001等の認証取得状況と成果への反映の確認)
			小 計	100	①						
	品質管理能力	詳細設計	ミス防止の 実施	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」、n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」、n=4⇒「1.0」						☐ ・業務計画書等に、照査体制、照査計画等が記載されていた。 ☐ ・業務計画書等に照査担当者が配置されていた。 ☐ ・照査報告書等の品質管理の記録により、照査が実施されたことを確認できた。 ☐ ・品質管理のためのシステムが構築されている部署で業務が行われ、かつ、それらの成果への反映について確認できた。 (ex. ISO9001等の認証取得状況と成果への反映の確認)
			小 計	100	①						

評価項目			評価の視点	配点	得 点 率					得点	評 価 細 目
					標準						
					優	標準	劣				
1.0	0.8	0.6	0.4	0.2							
プロセス評価	管理技術力	迅速性 弾力性 調整能力	当初計画の変更	40	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 #1⇒「0.8」、 #2⇒「1.0」						☐ ・業務遂行中に生じた、当初工程計画や業務内容の変更要請、あるいは監督員の指示等に迅速に対応した。 ☐ ・その結果生じた検討内容が優れていた。
			関連事業者間の調整	30	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 #1⇒「0.8」、 #2⇒「1.0」						☐ ・発注者からの指示、あるいは発注者との協議結果に基づき、関連事業者間の調整に係わる提案資料が作成された。 ☐ ・作成された資料の内容が良くとりまとめられていた。
			地元住民との合意形成	30	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 #1⇒「0.7」、 #2⇒「0.8」 #3⇒「0.9」、 #4⇒「1.0」						☐ ・発注者からの指示、あるいは発注者との協議結果に基づき、地元住民等との合意形成（円滑な業務履行の確保に資する地元等への配慮等を含む）に係わる提案資料が作成された。 ☐ ・作成された資料の内容が良くとりまとめられていた。 ☐ ・地元説明会に参加し、説明会の運営等に貢献した。 ☐ ・地域における問題点や課題に精通し、地元要望や意見を取り入れるなど地元住民との合意形成を図る努力が行われた。
			小 計	100	①						
		コミュニケーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション力	理解しやすい説明 プレゼンテーション（資料）	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 #1⇒「0.4」、 #2⇒「0.6」 #3⇒「0.8」、 #4⇒「1.0」					
	理解しやすい説明 プレゼンテーション（対応）			30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 #1⇒「0.4」、 #2⇒「0.6」 #3⇒「0.8」、 #4⇒「1.0」						☐ ・打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 ☐ ・質問に対する的確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 ☐ ・一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ☐ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
	説明を補う努力			20	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 #1⇒「0.4」、 #2⇒「0.6」 #3⇒「0.8」、 #4⇒「1.0」						☐ ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 ☐ ・説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 ☐ ・相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ☐ ・説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
	円滑な業務遂行への努力			20	評価細目チェック数=0⇒「0.6」 #1⇒「0.8」、 #2⇒「0.9」 #3⇒「1.0」						☐ ・密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 ☐ ・業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。 ☐ ・作業遂行上、電話やメールでのやり取りでは十分でないと考えられる内容に関して、臨機に面談による協議が行われた。
	小 計		100	①							

評価項目			評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
					優標準劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	取組姿勢	責任感 積極性 倫理観	責任感 積極性	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 # =1⇒「0.4」、# =2⇒「0.6」 # =3⇒「0.8」、# =4⇒「1.0」						☐ ・管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動はなかった。 ☐ ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しなかった。 ☐ ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 ☐ ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
			小 計	100	①						
結果評価		成果品の品質	目的の達成度	40	(評価細目が4つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 # =1⇒「0.4」、# =2⇒「0.6」 # =3⇒「0.8」、# =4⇒「1.0」 (評価細目が5つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 # =1⇒「0.4」、# =2⇒「0.6」 # =3⇒「0.8」、# =4⇒「0.9」 # =5⇒「1.0」						☐ ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ☐ ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ☐ ・業務成果は、現地条件が十分に反映され、現地適合性に優れた内容のものであった。 ☐ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。注) 【選択項目】
			的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 # =1⇒「0.4」、# =2⇒「0.6」 # =3⇒「0.8」、# =4⇒「1.0」						☐ ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ☐ ・理解しやすい文章表現等は、ほとんど認められない。 ☐ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 ☐ ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
			ミスの有無	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 # =1⇒「0.4」、# =2⇒「0.6」 # =3⇒「0.8」、# =4⇒「1.0」						☐ ・必要書類が整備されていた。 ☐ ・成果品の品質に大きく影響しない計算等のミスも認められなかった。 ☐ ・誤字・脱字、表記等、軽微なミスが、ほとんど認められなかった。 ☐ ・チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。
			小 計	100	①						

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

評価項目			評価の視点	配点	得 点 率					得点	評 価 細 目
					優 標準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	業務執行技術力	100	評価細目チェック数 =1以下⇒「0.2」 〃=2⇒「0.4」 〃=3⇒「0.6」 〃=4⇒「0.8」 〃=5以上⇒「1.0」						☐ ・当該業務の目的と内容の理解について、評価できるものであった。
											☐ ・当該業務に必要な情報の把握について、評価できるものであった。
							☐ ・当該業務に対する検討項目及び検討手法について、評価できるものであった。				
								☐ ・当該業務の打合せ資料の内容について、評価できるものであった。			
							☐ ・当該業務に必要とされる技術力を十分に発揮し、評価できるものであった。				
							☐ ・その他（理由：	）			
		小 計	100	②							
取組姿勢	責任感 積極性 倫理観	責任感 積極性 倫理観	100	評価細目チェック数 =0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」 〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」 〃=4以上⇒「1.0」						☐ ・企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。	
										☐ ・当該業務遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。	
							☐ ・地域への貢献等に関して、評価できるものであった。				
							☐ ・業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、業務を完成させた。				
							☐ ・その他（理由：	）			
		小 計	100	②							
業務執行に係る過失に伴う減点	業務執行上の過失			評価細目チェック数1つ毎に3点減点 ⑥						☐ ・業務執行上、指摘又は指導を行ったが、改善されなかった。	
										☐ ・関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情報連絡等、対応が適切に行われなかった。	
							☐ ・業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。				
							☐ ・業務実施体制に問題があった。				
						☐ ・その他（理由：	）				
守秘性に係る過失				評価細目チェック数1つ毎に3点減点（チェックは1つまで） ⑦						☐ ・業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任によるものと発注者が判断した。	
										☐ ・その他（理由：	）

評価項目			評価の視点	配点	得 点 率					得点	評 価 細 目
					優 標準 劣						
					1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	検討項目 検討手法	50	(評価細目が3つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.5」、〃=2⇒「0.7」 〃=3⇒「1.0」 (評価細目が4つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。
						☐ ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。					
		十分な技術力	50	(評価細目が3つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.5」、〃=2⇒「0.7」 〃=3⇒「1.0」 (評価細目が4つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。	
						☐ ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。					
	小 計	100	③						☐ ・業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。		
					☐ ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注) 【選択項目】						
	コミュニケーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション力	説明力 協調性 プレゼンテーション力	100	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・質問に対する確かな回答がなされ、一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。
							☐ ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。				
		小 計	100	③						☐ ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。	
					☐ ・説明当事者の説明が十分なされた。説明が不十分な場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。						
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	(評価細目が4つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」 (評価細目が5つの場合) 評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「0.9」 〃=5⇒「1.0」						☐ ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。	
						☐ ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。					
		的確な とりまとめ	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。	
						☐ ・業務成果は、現地条件が十分に反映され、現地適合性に優れた内容のものであった。					
	ミスの有無	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。注) 【選択項目】		
					☐ ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。						
小 計	100	③						☐ ・理解しやすい文章表現等は、ほとんど認められない。			
				☐ ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。							
				☐ ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。							
成果品の品質	ミスの有無	30	評価細目チェック数=0⇒「0.2」 〃=1⇒「0.4」、〃=2⇒「0.6」 〃=3⇒「0.8」、〃=4⇒「1.0」						☐ ・必要書類が整備されていた。		
					☐ ・成果品の品質に大きく影響しない計算等のミスも認められなかった。						
	小 計	100	③						☐ ・誤字・脱字、表記等、軽微なミスが、ほとんど認められなかった。		
					☐ ・チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。						

注) 考查基準の巻末「参考：採点上の補足」を参照のこと。

9. 評定点集計表

(1) 「地質調査、単純調査業務、測量業務等」評定点集計表 業務名：〇〇第〇号測の〇 △△△委託業務

[illegible]

(2) 「調査業務、計画業務」評定点集計表

業務名： ○○第○号測の○ △△△委託業務

評価項目		評価の視点	担当係長（監督員）										担当課長										検査員										業務評定（注2）				管理技術者				技術者評定（注1）（注2）				照査技術者																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合						

(3)「設計業務」評定点集計表

業務名：〇〇第〇号測の〇 △△△委託業務

評価項目		評価の視点	担当係長（監督員）										担当課長										評定点 （注2）	業務評定（注2）				管理技術者				技術者評定（注1）（注2）				照査技術者										
			配点	得点割合							得点	評定点	配点	得点割合							得点	評定点		評定点④	加重平均点の算出			評定点③	加重平均点の算出			評定点③	加重平均点の算出													
				1.0	0.9	0.8	0.7	0.6	0.5	0.4				0.2	④=①=①'×2/24	④	2	/	8.3	④÷⑬×⑬					2	/	8.3		④÷⑬×⑬	2	/		12.5	④÷⑬×⑬	2	/	12.5	④÷⑬×⑬	2	/	12.5					
																																										①'×4/24×1/10+②'×4/24×5/10+③'×4/24×4/10	④	4	/	16.7
評価項目		評価の視点	配点	1.0	0.9	0.8	0.7	0.6	0.5	0.4	0.2	得点	評定点	配点	1.0	0.8	0.6	0.4	0.2	得点	評定点	配点	1.0	0.9	0.8	0.7	0.6	0.5	0.4	0.2	得点	評定点	評定点 （注2）	評定点④	加重平均点の算出 ④ / ⑬ (%)	評定点③	加重平均点の算出 ③ / ⑬ (%)	評定点③	加重平均点の算出 ③ / ⑬ (%)	評定点③	加重平均点の算出 ③ / ⑬ (%)	評定点③	加重平均点の算出 ③ / ⑬ (%)			
専門技術力	提案力改善力	業務着手段階における業務特性等の考慮	○	20																																										
		業務遂行段階における提案	○	40																																										
		業務遂行上必要となる課題の提案	○	20																																										
		業務内容等改善の提案	○	20																																										
	業務執行技術力	小計	△	100									①'=①=	①=	△								△																							
		目的と内容の理解	○	20																																										
		必要情報の把握	○	20																																										
		検討項目、検討手法	○	20											○	100																														
		打合せ資料の内容	○	20																																										
		十分な技術力	○	20																																										
		小計	△	100										①'=①=	①=	△	100																													
	施工時への配慮 （設計時評価、設計業務を対象に評定する。 イ、ロのいずれかを選択する。）	イ、『概略設計』『予備設計』の場合	施工に関する一般的な知識	△	60																																									
			施工条件等の把握	△	40																																									
			小計	△	100										①'=①=	①=	△																													
		ロ、『詳細設計』の場合	施工に関する一般的な知識	△	40																																									
			施工条件等の把握	△	30																																									
			施工計画（施工方法、仮設備計画）	△	30																																									
	コスト把握能力 （設計業務を対象に評定する。）	コスト把握能力	○	100																																										
		小計	△	100										①'=①=	①=	△																														
	工程管理能力	実施手順、工程計画	○	30																																										
		実施体制	○	10																																										
		打合せ内容の理解、記録	○	20																																										
		工程管理	○	40																																										
		小計	△	100										①'=①=	①=	△																														
品質管理能力	ミス防止の実施	○	100																																											
	小計	△	100										①'=①=	①=	△																															
迅速性 弾力性 調整能力	当初計画の変更	○	40																																											
	関連事業者間の調整	○	30																																											
	地元住民との合意形成	○	30																																											

参考:採点上の補足

1. 業務執行に係る過失に伴う減点について
採点表の評価細目で「その他」を選択する場合は、その理由を記載する。以下、例を示す。
- (業務執行上の過失の評価例)
・その他(監督員の再三の指示にもかかわらず、改善されなかった。)
2. 高度な技術レベルが求められる場合等について
採点表の評価細目で、“高度な技術レベル”“難易度の高い業務”の項目があるが、これに関しては以下の例に示される「知識」の高い業務かつ／又は「構想力・応用力」の高い業務(第Ⅱ象限、第Ⅲ象限、第Ⅳ象限)を指す。以下、標準的な業務内容に基づいた例を示す。

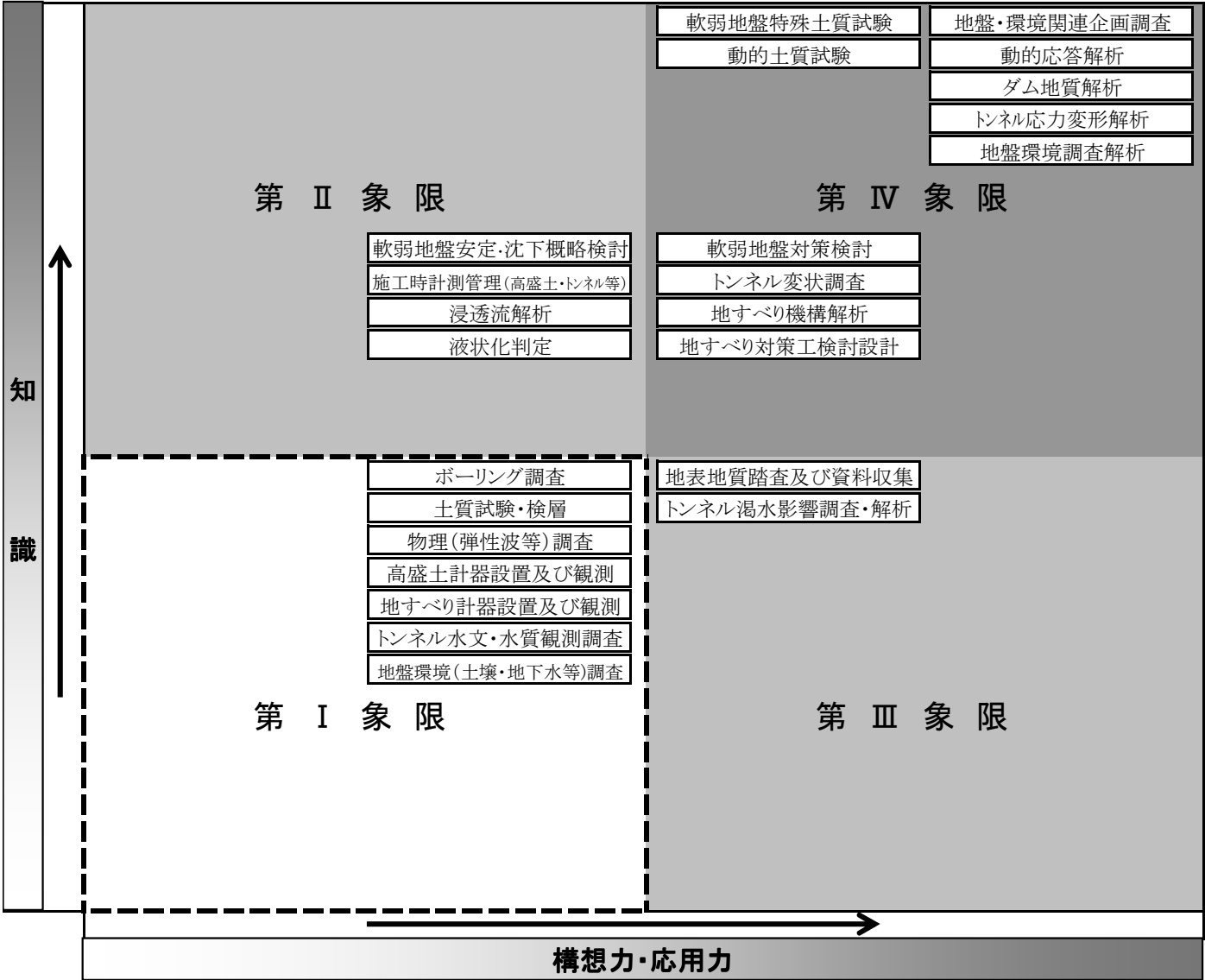


図 地質調査の例

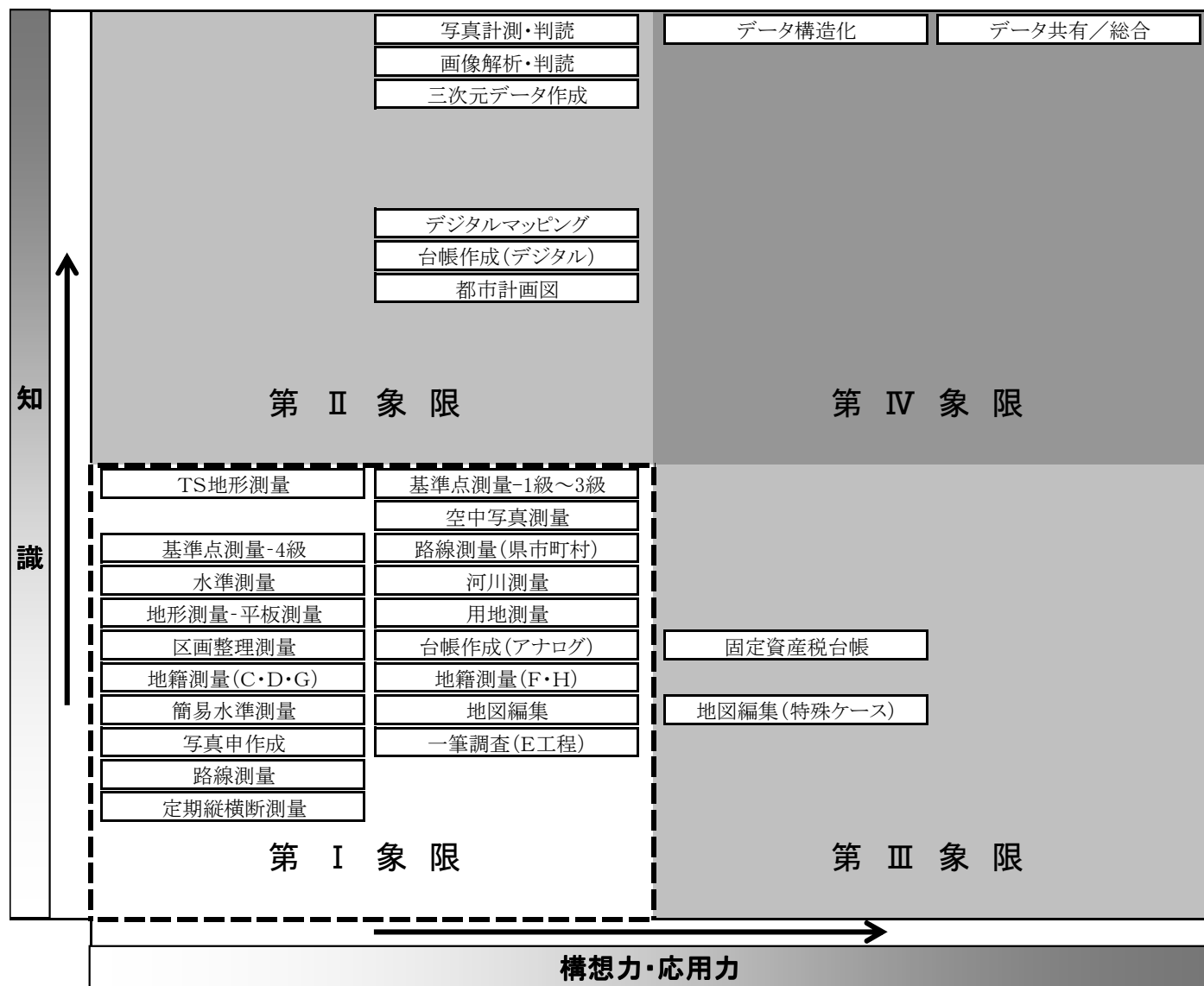


図 測量業務の例

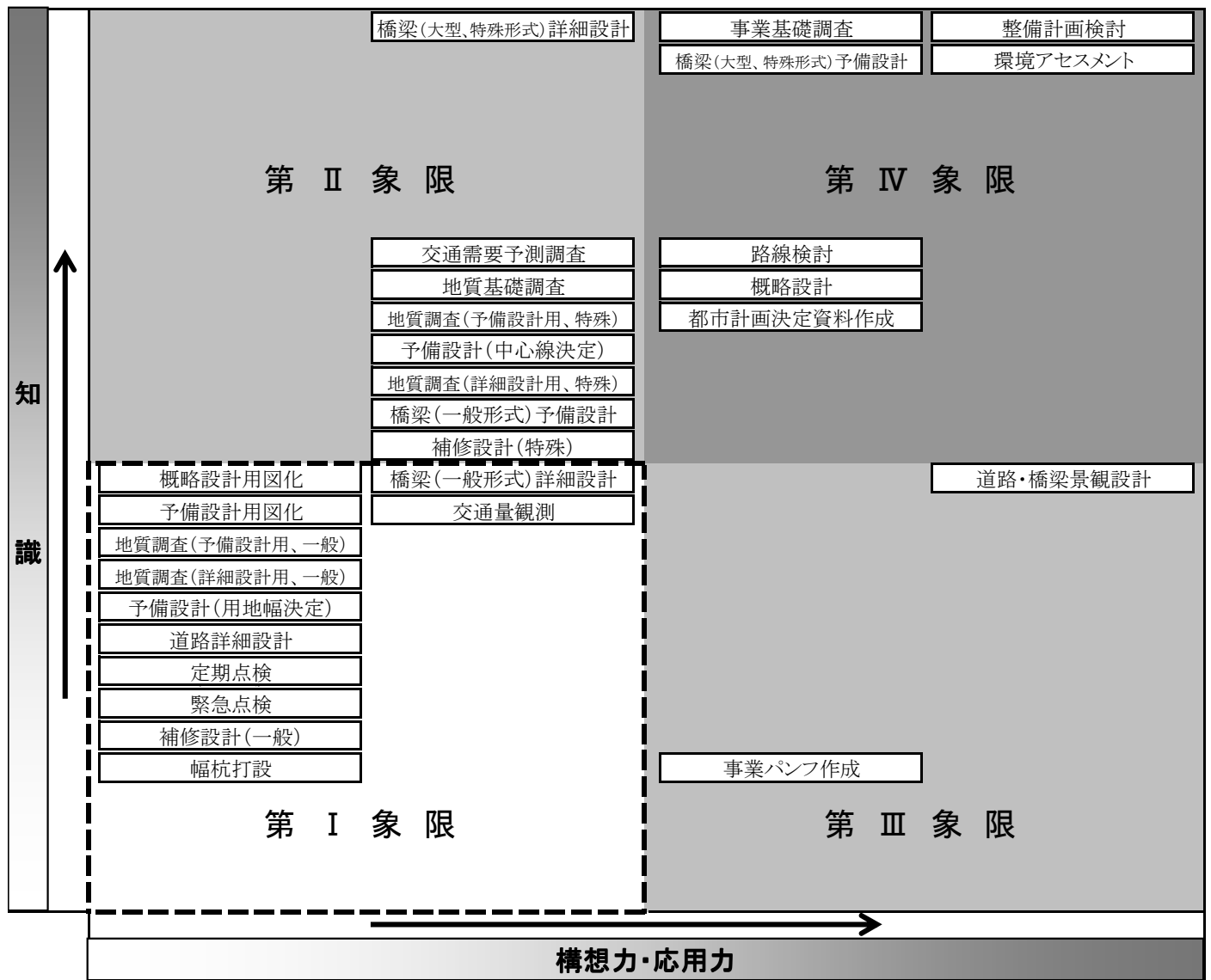


図 道路事業に係わる調査・計画・設計業務の例



注: A, Bは同種の業務における難易度の違いを表し、Aは難易度が大きいものである。

図 河川事業に係わる調査・計画・設計業務の例